

「新人目線」の用語解説

語句よみ

第253号



日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

今回のテーマ **生成AIよりも高次元のAIである、「AGI」や「ASI」**

チャットGPTをきっかけに生成AIが世界的に普及する中、生成AIよりも高次元のAIである、汎用人工知能（AGI）や人工超知能（ASI）の実現に対する関心が高まっています。今回は、AGIやASIの概要などについて調べてみました。

1. 汎用人工知能（AGI）

2022年11月に米オープンAIが発表した対話型AI「チャットGPT」は、公開2ヵ月後に月間アクティブユーザー数が1億人を超えるなど大きな話題となり、生成AIが世界的に普及するきっかけになりました。こうした生成AIの普及などを受け、これまで実現に相当な時間を要すると考えられてきた汎用人工知能（AGI）が、今後10年以内実現するとの見方が広がってきています。

AGI (Artificial General Intelligence) とは、人間と同様の汎用的な知能を持つAIのことを指します。生成AIが、大量の学習データなどをもとに、文章や画像、音声などの様々なコンテンツを生成することに特化しているのに対し、AGIではより幅広い分野における学習・推論や意思決定が可能と考えられています。また、様々な分野の学習を積み重ねることで自身の知識水準を向上させ、画期的なアイデアを創出できるほか、人間の感情を汲み取りながらコミュニケーションを取ることができるなどともされており、AGIが実現した場合には、様々な分野でAIの応用がさらに進むとみられています。

ステップアップ

AGIに対する関心が世界的に高まる中、2024年11月には、米議会の米中経済安全保障再考委員会が、AGIの開発を最優先の課題として取り上げた年次報告書を公表し、注目を集めました。



(次のページへ続きます)

掲載銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目録見書）をご覧ください。

AGIの実現に向けて、世界的に様々な企業で研究開発が進められていますが、その中で先行しているのはオープンAIとみられており、同社が2027年頃にAGIを発表するとの見方も出てきています。なお、同社は、2015年の設立時からAGIの開発を使命として掲げています。

同社が2024年9月に発表したAIの新技术「o1(オーワン)」では、これまで人間とAIの大きな差として指摘されることが多かった論理的思考力を高めることに成功しており、同技術の登場により、人間とAIの知能の差が縮小する可能性があると考えられています。同社のサム・アルトマンCEO(最高経営責任者)は、同技術の開発を通して、AGIを実現する方法が見えてきたと語っているほか、傘下のビジョン・ファンドを通じて同社に出資しているソフトバンクグループの孫正義会長兼社長は、同技術について「AIが考える能力を持った、ノーベル賞もの」と称賛しています。このような足元の動向も踏まえ、AGIの早期実現シナリオが現実味を帯びてきたとの評価もあり、AGI実現に向けた研究開発の進展などに注目が集まります。

2. 人工超知能(ASI)

人工超知能(ASI、Artificial Superintelligence)とは、AGIよりもさらに進化したAIであり、人間よりもあらゆる分野で優れた能力を持ち、自己学習や自己進化により能力を飛躍的に向上させることが可能とされています。また、人間が理解できないほどの速いスピードや高い精度でデータを処理・分析することなども可能なため、さらなる科学の進歩や地球規模での課題解決などにも寄与すると考えられます。

AGIやASIはSF(サイエンス・フィクション)関連の作品などで扱われることが多いテーマですが、AI技術の急速な進歩により、その実現可能性などが注目を集めるようになりました。しかし、その一方で、AGIやASIが実現した場合、その行動や意思決定が人類にとって脅威となる可能性があるほか、人類では制御できなくなるリスクなども指摘されています。そうした懸念に対し、さらなる議論を通じて、規制の整備やリスク管理などを検討することも重要であり、今後、今まで以上に関心を集めるテーマだといえます。

AGIやASIの実現は、人類に多くの恩恵をもたらすと期待されていますが、同時に懸念点も指摘されており、両面を認識しておくことが重要と考えられます。

ステップアップ

ASIの実現可能性について様々な議論がある中、ソフトバンクグループの孫会長兼社長は、2024年10月の講演で、ASIは今後10年以内に実現するとの見方を示しています。



掲載銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。